

コミュニティバス情報の オープンデータ化について

さいたま市 都市局
都市計画部 交通政策課
令和4年10月24日（月）



目次

1. コミュニティバス情報の収集（現状と課題）
2. コミュニティバス情報のオープンデータ化
3. スケジュール（案）



1. コミュニティバス情報の収集（現状と課題）

●コミュニティバス利用時の情報収集方法（紙面・画面ベースの案内）

さいたま市のコミュニティバスを利用する際の路線やダイヤの把握方法は主に以下です。

方法1 バス路線マップ/PRチラシ

方法2 路線案内（さいたま市ホームページにおける各路線のルートガイド 等）

方法3 バス停情報（バス停や乗り場の時刻表や案内 等）

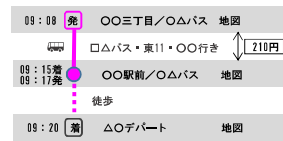
- 案内板や冊子、ホームページ上の画面で、時刻や路線を個別に把握する必要があります。
- ダイヤの見直しや路線が変わった場合は、案内情報を作り直して周知が必要になります。



バス路線マップやPRチラシ（例）

●鉄道や路線バス利用時の情報収集方法（スマホ検索ができる）

- 鉄道やバス事業者のホームページなどで案内を確認できることに加えて、スマートフォンを使って「経路検索」をすることができます。
- 異なる路線の乗り継ぎなども検索でき、運賃なども確認できます。
- 事業者や路線によっては、運行の遅れなども確認することもできます。



公共交通利用時のスマホ検索（イメージ）

現在、コミュニティバスはスマートフォンなどの経路検索や運行情報把握はできませんが（一部可能なアプリもあり）、今後、コミュニティバス情報の**オープンデータ化**を進めることで、様々な**地図**や**経路検索アプリ**を使用して、鉄道や路線バスのように便利に情報を把握できるようになります。

『オープンデータ』とは？なぜ進めるのか？は [次ページへ](#)



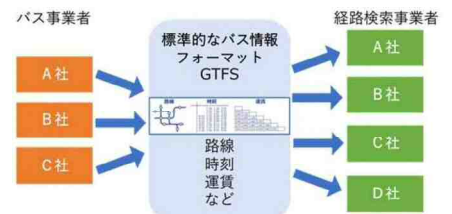
2. コミュニティバス情報のオープンデータ化

●『オープンデータ』って何？

- 「機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ」であり「人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするもの」です。つまり、誰でも許可されたルールの範囲で自由に複製・加工や分析等ができるデータを言います。（商用としても利用可能）
- 「人口統計」や「公共施設の場所」をはじめとした様々な公共のデータを、ユーザ(市民、民間企業など)に有効活用していただき、社会経済全体の発展に寄与することを目的として、世界中で同様の試みが進められています。

●コミュニティバスのオープンデータ化をなぜ進めるのか？

- オープンデータ化することにより、路線図、時刻表などのデータの利用を開放、各経路検索サービスや大手地図サイトに自由に使うことで、コミュニティバス利用の情報収集がしやすくなり利用促進が図られます。
- また、時刻表などの改正があった場合に、検索情報に迅速に反映されるなど、利用者への情報提供が正確に行われるようになります。



オープンデータ化による情報提供のイメージ（国土交通省資料）

●オープンデータ化をどう進めるのか？

- 上記実現のため、市内のコミュニティバス路線情報を国土交通省が定めた「標準的なバス情報フォーマット」形式で整備します。

情報の例： バス停、路線、時刻表、バス運賃など【静的データ】

路線	時刻		運賃	
	出発	到着	乗車	乗降
1	7:00	7:15	120	120
2	7:10	7:25	150	150
3	7:20	7:35	210	180
4	7:30	7:45	240	210
5	7:40	7:55	270	240
6	7:50	8:05	310	270
7	8:00	8:15	310	270

標準的なバス情報フォーマット（国土交通省資料）



3. スケジュール（案）

準備

(R4.8~)

- 交通事業者協議
- コミュニティバス情報のフォーマット化

公表

- コミュニティバス情報の公表
 - ・ 市ホームページ
 - ・ 経路検索事業者への情報提供

アプリ等

活用

※ 地図や経路検索アプリへの反映